



操法大会ももうすぐ。がんばれ消防団

～消防団、新入団員らに辞令交付～

阿蘇市消防団辞令交付式が4月1日、一の宮体育館で行われ、今年度は、昇任者61名、新入団員47名に辞令が交付されました。これにより、下記の幹部以下837人の阿蘇市消防団の新体制が整い、新たなスタートを切りました。

式では佐藤市長が「先輩団員の指導のもと一日も早く消防に必要な知識、技能を修得し市民の貴重な生命・財産を守っていただきたい」と挨拶。湯浅団長より「今年は操法大会が開催されます。また緊急時に備え、日頃から機械器具の整備を十分行い訓練に励んでほしい」と訓示。新入団員を代表し、第12分団の渡邊行二さんが力強い宣誓をしました。

昨年からは開始している「ASO安心安全ネットワーク※」の利用などにより、阿蘇市消防団員はいつでもいち早く火災情報を入手できるようになりました。市民の皆様も防災・防犯の情報を共有できますので、まだ登録がお済でない方はこの機会に登録してみたいはいかがでしょうか。(登録方法は25ページに掲載)

※携帯電話やパソコンに防災・防犯の情報がメール配信されます。配信希望の方は阿蘇市役所総務課までご連絡ください。



辞令交付式の様子

《操法大会スケジュール》

旧阿蘇町地区 操法予選会	6月18日(日)	農村公園あびか 駐車場
旧一の宮町地区 操法予選会	6月25日(日)	〃
阿蘇市操法大会	7月23日(日)	〃
熊本県操法大会	8月27日(日)	人吉市梢山地区 多目的グラウンド



団長・副団長名簿

階級	氏名	階級	氏名	階級	氏名
団長	湯浅 正司	統括副団長	岩下 二夫	統括副団長	佐藤 慎一
副団長	市原 英一	副団長	岩下 純男	副団長	倉岡 孝範
副団長	末藤 吉一	副団長	高宮 信一	副団長	高宮 隆博
副団長	中村 浩文	副団長	成田 一秋	副団長	鳴川 三郎
副団長	村上 一秀	副団長	渡邊 良作		

各分団長名簿

分団名	分団長名	分団名	分団長名	分団名	分団長名	分団名	分団長名
第1分団	蔵原 和久	第7分団	阿南 末雄	第13分団	甲斐 桂史	第19分団	村本 真也
第2分団	井手 孝義	第8分団	江良 孝一	第14分団	佐藤 耕治	第20分団	永富 浩司
第3分団	佐藤富士男	第9分団	岩下 道幸	第15分団	軽木 欣弥	第21分団	塚本 栄治
第4分団	甲斐 芳文	第10分団	岩永 博修	第16分団	山本 盛揮	第22分団	荒上 善治
第5分団	廣瀬 郁夫	第11分団	阿部 泰隆	第17分団	伊藤 照行	第23分団	小島 誠
第6分団	古澤志喜男	第12分団	岩永 啓三	第18分団	鶴田 康浩	第24分団	家入 勇人

阿蘇市区長会総会

区長の新旧交代がありました



区長新旧交代に伴う辞令交付のようす

平成18年度阿蘇市区長会総会が、4月7日、一の宮町のホテルで開催され、区長の新旧交代に伴う辞令交付や審議が行われました。区長は市の非常勤特別職とされ、阿蘇市の自治に大きな役割を担っています。その職務は、地域においても、防犯、福祉、環境など幅広く大変な仕事です。この総会でも、阿蘇市の発展のため、今後も117名の区長が一丸となりがんばることを誓われました。市民の皆さまも、各地区の取り組みにご協力いただきますようお願い致します。

平成18年度新旧区長名簿

行政区名	新規区長	退職区長	行政区名	新規区長	退職区長
古神3区	林 董	榎本 正二	宇 土	大木 正幸	岩本昭一郎
分 3 区	大野 信雄	井野 巳敏	浜 川	牛島 慶一	森本 忠義
塩 塚	高橋 達也	山部 七生	原 の 口	佐藤今朝富	山崎 忠志
福 岡	市原 謙輔	市原 啓吉	山 田	小西 澄男	橋本 敬吾
古城3の1区	岩下 紀幸	甲斐 二六	小野田町	白川 幸年	志賀 一太
古城5の1区	和田 長次	森永 保宏	茗ヶ原	橋本 勝徳	高村 貴生
古城7区	小糸 貴	田嶋 忠弘	西 町	村上 正一	家入 照義
中 原	岩下 鎮夫	岩下 常雄	元黒川	佐藤 朝廣	阿南 善範
上西河原	池田 正二	西村 重徳	的 石	宮川 暎一	山本 清澄
上東下原	甲斐純一郎	甲斐 章文	小 園	松下 純雄	大塚 武
荻 の 草	井野 保生	井野 悦雄	坂 の 上	山口 勇一	山口 司
成 川	和田 優助	山内 光男	横 堀	岩瀬 國興	岩瀬 善喜

結束して阿蘇の観光をリード

各観光協会が合併して阿蘇観光協会が誕生

旧ASO一の宮町観光協会、阿蘇町観光協会、波野村観光協会は、平成18年4月1日をもって「阿蘇観光協会」として名称も新たに生まれ変わりました。観光協会は、観光業及び商工業に携わる多くの個人・団体が加盟した大組織で、今回の合併も、全国有数の観光地である本市が、さらに国際観光都市として発展するため協会の体制を強化したものです。今後も、3つの支部を設置し、広く情報を集めながら、新幹線の開通や観光ルートのアクセス整備など多くの課題に取り組んでいきます。

会 長：小笠原 徹朗
副会長：市原 新、志賀 昭男

「阿蘇観光協会の発足について」
会長あいさつ

それぞれの協会と協議を進め、このほど「阿蘇観光協会」設立となりました。しばらくは各々の事業中心になりますが、徐々に全体事業としての取り組みへと進めてまいります。間近に迫っています九州新幹線全線開通は、旅行需要及び形態に大きな変化を呼び起こします。この千載一遇のチャンスを一里塚とし、熊本を代表する観光地の名に恥じぬよう精一杯頑張りますので、皆様の暖かいご支援をお願い致します。

故 しょうき み お 城己巳生氏 特旨叙位(正六位)受章

地方自治の発展に大きく貢献

今年1月21日に、88歳で逝去された、元波野村議会議員及び議長歴任の城己巳生氏が、特旨叙位(正六位)を叙されました。特旨叙位は地方自治の発展に大きく貢献した故人に贈られるものです。城氏は、人望が厚く、昭和22年に30歳の若さで、波野村議会議員に初当選。以来昭和56年までの通算7期、26年間の長きにわたり議員、また議長として活躍されました。また、商工会会長、体育協会会長、教育委員会委員、監査委員なども努められ、旧波野村の自治、産業、教育、福祉と、幅広く貢献されてきました。その功績より平成8年にも「勲五等瑞宝章」を受章されています。



伝達式は4月18日、ご子息の和昭さんを迎え、市長室で行われ「大変名誉あるものをいただきました、早速、亡父に報告致します」とお礼を述べられました。

世界児童画展で中野^{しゅうさく}柁作君が入賞!

のびのび描いた版画



第36回世界児童画展の入賞者が発表され、33カ国・20数万人の国と地域から応募のあった中から(熊本県内からは16団体・712点の応募)、阿蘇西小3年中野柁作君の「オーストラリアのワニはこわい!」と題した版画が特別賞の読売新聞社賞に輝きました。3月27日には東京芸術劇場(東京都)で表彰式が行われました。中野君は「家族で旅行した時のことを描きました。インキを塗ることが楽しかったです。」と感想を述べてくれました。

駅のホームに手作りの座布団を設置

赤水女性の会の温かな奉仕

赤水女性の会(会長 桑木邦子さん他約100名)の方々が4月17日、JR阿蘇駅と赤水駅に、カーテンや布などをリサイクルして作った座布団を置かれました。桑木会長は「以前、駅を利用された観光客の方が座布団があったらいいのに、と要望されたことがきっかけで寄付しようと考え、50枚作りました。今後も年間通して色々なことに取り組みたい。」と述べられました。今後、駅を利用されるお客様に喜ばれることでしょう。



赤水駅に座布団を設置している赤水女性の会の方々。(写真右、桑木会長)



上級生に迎えられながら、入場する新入生。緊張してるのかな？

阿蘇ライオンズクラブ、阿蘇一の宮ライオンズクラブ、阿蘇地区交通安全協会、熊本県教育委員会、阿蘇市教育委員会から、新小学一年生に防犯及び交通安全対策のための防犯ブザー・黄色い帽子等が贈られました。

各学校の4月11日付けの児童生徒数は表のとおりです。

<児童数について>

＝小学校児童数＝

(単位：人)

学校名	新入生数	全児童数	学校名	新入生数	全児童数
宮地小	51	338	坂梨小	13	101
中通小	6	37	古城小	15	66
碧水小	29	245	乙姫小	15	67
阿蘇西小	17	134	尾ヶ石東部小	14	59
内牧小	68	347	山田小	10	65
波野小	13	74			



＝中学校生徒数＝

(単位：人)

学校名	新入生数	全生徒数	学校名	新入生数	全生徒数
一の宮中	106	308	阿蘇中	53	175
阿蘇北中	120	365	波野中	19	50

急に飛び出しちゃダメ！

交通事故犠牲者^{ゼロ}を目指し、
各学校で交通安全教室

新入学シーズンにあわせ、市内の小・中学校では、交通安全教室が開催されています。阿蘇地区交通安全教育推進協議会の講習員が子どもたちにわかりやすく説明し、事故から身を守るための知識やマナーを教えています。ご家庭でも、再度ご説明いただきますようお願い致します。特に、自転車に乗る際着用するヘルメットのベルトをしっかりと締めていない子どもを多く見かけるそうです。ご注意ください。

ご入学おめでとう。
がんばれ新一年生！

小学生251人、中学校に298人が入学

満開の桜咲く4月11日、市内の小学校(11校)・中学校(4校)の入学式が一斉に行われました。新入生たちは、うれしそうに保護者とともに学校の門くぐり、初めてのクラスで友だちや先生と出会うと、学校での生活に胸をはずませ希望に満ちた様子でした。

入学に伴い、キューネット株式会社、



ダミーの人形を使って事故の恐ろしさを教える山部講習員。(写真は4月26日、宮地小学校)

熊本トヨペットが苗木200本を寄贈

手野のグリーンロードに植栽

熊本トヨペット株式会社(代表取締役社長 齊藤直信さん)は、毎年、緑化推進事業を展開しており、このほど「第31回ふれあいグリーンキャンペーン」の一環として、阿蘇市にソメイヨシノの苗木200本を寄贈されました。

苗木は、手野きよら会と古城6区子ども会の皆さんで、手野の阿蘇一の宮グリーンロードに植えていただきました。ありがとうございました。



4月5日行われた贈呈式には、齊藤社長と、「緑の大使」として2006年度ミスインターナショナル日本代表の櫻井麻美さんが、市役所を訪れ、市長に苗木を手渡しました。



左から栗明業務部長、佐藤社長、坂ノ上業務課長

女性の起用で生産効率をアップ!

「平成17年度 熊本県男女共同参画推進事業者表彰」を受賞

県では、平成14年度から職場における男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業所を表彰しています。今年度も5つの事業者が栄えある賞を受け、その中で、阿蘇市から一の宮町のシンエイ産業株式会社(代表取締役社長 佐藤孝幸さん)が受賞されました。

シンエイ産業は、育児・介護休業制度を平成10年から導入。また、本人の実績により臨時・パート職員を正社員として任用し、さらに技術的な資格が取れるよう基準を設け、ライセンス取得の促進も行っています。最近では女性を管理職に抜擢し、さらに部長、女性の課長とともに3人4脚による男女共同参画の職場を目指した取り組みや、男女が半数ずつ参加し、様々な提案を行うサークル活動も行われています。

美しい阿蘇のイメージ大切に

大型連休を前に商工会がゴミ拾い

阿蘇町商工会青年部(会長 杉本素一さん)は、観光シーズンを前に、毎年、クリーン作戦を実施しています。今年も、商工会女性部、阿蘇観光協会、阿蘇温泉観光旅館協同組合、市議会議員などが参加し、国道212号線沿いから大観峰一体の広範囲でゴミ拾いや、不法投棄の除去も行い、大型ダンプ車数台分のゴミを処理場まで運ばれました。青年部は、このほか環境保全活動に取り組んでいます。



◀ クリーン作戦開始のあいさつ

▶ 集められたゴミの山



叙 勲

竹原幸範^{ゆきののり}さんが「瑞宝双光章」を受章



竹原さん宅で伝達式が行われました。

永年、教育分野に貢献してこられた竹原幸範さん(88歳、蔵原)が、「瑞宝双光章」を受章されました。竹原さんは、昭和13年から教職に就かれ、以来39年間、阿蘇郡内の学校に赴任され、昭和52年、一の宮中学校校長を最後に退職。特に音楽方面での貢献は大きく、当時竹原さんが創った郡音楽会などは今も継続され、教育の向上につながっています。

また、退職後も、阿蘇町文化祭実行委員長、阿蘇町文化協会会長、阿蘇少年少女合唱団団長、阿蘇の自然を守る会会長、阿蘇郡文化協議会会長などを歴任され、地域の文化の振興に全力を注がれてこられました。その功績は大きく、今回の受章に至りました。

伝達式は4月7日、竹原さん宅で行われ、市長から伝達されると「大変、光栄に思います」と述べられ、今後も、文化振興への情熱が子どもたちに受け継がれることを願われました。

水泳大会で有働毬加^{うどう まりか}さんが大会新

アゼリアのプールでがんばってます！

九州水泳研究会主催の春季水泳大会が3月28日、熊本市で開催され、内牧小学校2年生の有働毬加さんが25メートル背泳ぎで大会新記録(記録24秒40)で、優勝しました。自由形・バタフライでも3位と健闘しました。有働さんは、2年前にアゼリアの水泳教室に入会。そして、もっと水泳をがんばりたいと昨年8月から、選手育成コースに入り、現在小・中学生11名のコース生と週4回の練習をこなしています。将来は水泳の選手になるのが夢という毬加さん。ぜひ、がんばってほしいですね。



アゼリアで水泳の練習を頑張っている有働さん

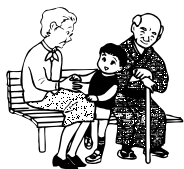


高齢者センターに長イスを設置

松吉会が技術で奉仕活動

自分たちの技術を生かしたボランティア活動を毎年行われている松吉会の皆さんは、4月8日、一の宮町高齢者センターの芝広場(6ha)で、古材などを用い、半日かけて作業し、9台の長イスを設置されました。

今年で会の結成20年目を迎えるという松吉会は、11年前から、工務技術者仲間の集まりであるから、人に役立つ事をできる範囲でやっていこうと活動を開始。これまでに、旧一の宮町の小・中学校、保育園の修繕工事、スポーツ公園のイス設置などを行ってこられました。



今回作られた長イスも、とてもアンティークで、大人数で座れます。ぜひご利用ください。

坊中さんさく祭り

地域の手づくりで初めて開催

坊中地区の歴史散策の案内などで活動中の地域おこしグループ「坊中さんさく隊」(隊長 軽木欣弥さん他20人)が、4月16日、西巖殿寺で「坊中さんさく祭り」を開催しました。歴史ある西巖殿寺の長い石段の前に設けられたステージでは、阿蘇中学校ブラスバンド部やAcofan club(熊本アコースティックファンクラブ)がステキな音楽を披露。また、西巖殿寺の鷲岡住職が写経を、坊中人力會が人力車を走らせるなど、地区の人たちによる、ほのぼのした祭りが行われました。



西巖殿寺の長い石段の前にステージを設けて音楽を披露。



阿蘇を散策するのにぴったりの音楽

「坊中さんさく唄」ができました。

軽木欣弥さんが作詞作曲、坊中さんさく隊のメンバーが歌い、Acofan clubのメンバーが演奏した「坊中さんさく唄」が完成し、「坊中さんさく祭り」の際、初お披露目しました。この曲は、お客さんと坊中周辺を散策するとき、より楽しく阿蘇を感じてもらえるテーマソングとして作られました。阿蘇市に來るといつも聞こえるメロディになればステキですね。このCDは500円で、坊中の「菓心なかむら」(Tel34-0321)で購入できます。

・軽木欣弥さんプロフィール

熊本アコースティックファンクラブ会長。小学生の頃からギターに魅せられ、6年生から本格的に勉強。さらにアメリカへ6年間の音楽留学。帰国後、坊中で家業を継ぎ、平行して音楽活動を展開。県内有数のギタープレイヤーです。6月に発売のAcofan clubのアルバムもプロデュース。自身の演奏も収録。

「阿蘇市チャリティーゴルフ大会」177人がプレー

チャリティー基金160,100円を社会福祉協議会に寄付

第1回阿蘇市チャリティーゴルフ大会(実行委員会主催)が、4月9日、市内のゴルフ場で開催されました。合併後初となる今大会には、177人が参加。市民の親睦と融和を目的にした大会とあって、皆でさわやかにプレーを楽しめました。

ネット部門 1位 宮本慎也 2位 宮本一良 3位 山部明人
ベストグロス 井手康幸(スコア 74)



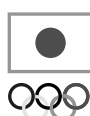
記念すべき第1回の優勝者となった宮本さん

第1回の開催を記念して優勝旗を寄贈

熊本県内の1業種1社の経営者でつくるE e C Oの会が、佐藤市長を会主催講演会に講師として招いたことをきっかけに、4月5日、阿蘇市チャリティーゴルフ大会優勝旗を寄贈されました。



2位の表彰台に上がる榎木野君



レスリングで全国2位

ならぎの ひろあき
榎木野宏晃君(玉名工高2年)

JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権が4月23日、神奈川県横浜文化体育館で開催され、波野の榎木野宏晃君(玉名工業高校2年)が、男子カデットの部(17歳未満)グレコローマンスタイル100キロ級で見事準優勝しました。

強豪が出揃う中、最重量級の100キロ級で戦い、2位というすばらしい結果を残した榎木野君は、一の宮中学校柔道部出身。当時の柔道の監督にレスリングを薦められ現在にいたっています。玉名工業高校は全国有数のレスリング部。現在、インターハイに向け猛練習中です。

事業の拡充目指しNPO法人化へ

NPO法人ASO田園空間博物館設立総会で決意新た

昨年4月から、阿蘇駅前の本館案内所を拠点に、地域資源の保全と地域づくり活動を行ってきた任意団体ASO田園空間博物館が、このほど、NPO法人※としての申請を行いました。7月末に正式に県から認可される予定です。

4月9日に行われた総会で、法人認可後の取り組みについての審議もはかられ、会員約60人を前に、NPO法人化後も理事長に選任された西岡ヤス子さんが、「7月正式認定されれば、地域に貢献する社会的団体として位置づき、信用度も増します。また、活動基盤も整うことから、今後一層、会員らとともにやるべき課題に取り組んでいきたい」と述べられました。



※NPOとは…ボランティア団体や市民団体などの「民間非営利組織」。営利企業とは違い、利益追求のためではなく、社会的な使命の実現を目指し活動する組織や団体。



全日本きもの装いコンテストで

いちばらしゅうじ
市原修二さんが3位に入賞

全日本きもの装いコンテストきものフェスティバル世界大会が、4月2日、東京都のNHKホールで盛大に開催され、地区予選を勝ち抜き出場した19人中、市原修二さん(36歳、坂梨)が3位に輝きました。この装道(きもの着装)の審査は、ステージ上で、早く正しく美しく着ることはもちろん、立ち振る舞いなどまで多項目審査されます。市原さんは初出場ながら見事な技を披露。「緊張せず練習してきたことが十分発揮できました」と感想を述べられました。市原さんは1年前から一の宮町の装道教室で練習。日本伝統である着物には、奥深い魅力があるそうです。

歓迎サインもイメージチェンジ

大型看板の書き換え

阿蘇市では、合併に伴うわかりやすい案内や、国際環境観光都市を目指した取り組みとして、観光サイン・誘導サインの書き換えや新設を行っています。

これまでに大きなものでは、阿蘇市西口玄関となる赤水や坊中交差点の観光サイン等の書き換えを行っています。

これからも観光サイン・誘導サインの充実を順次行っていきます。



国道57号線沿いの観光サイン看板
(左 阿蘇駅付近 右 赤水駅付近)

九州初開催のちびっこ相撲大会で

中西勇成くんら健闘

全国でもめずらしい未就学児対象の相撲大会「第1回熊本県選抜ちびっこ相撲大会」が、3月26日、八代市日奈久小学校で開催され、県内外から約200人の選手が参加する中、阿蘇市のちびっこたちが大健闘しました。優勝した中西くんらは、現在、阿蘇岩下相撲道場に通って、心身たくましくなるよう練習に励んでいます。



<結果>

- 年長の部 優勝 中西勇成(山田)
- 年中の部 3位 吉岡圭太(湯浦)、松岡颯真(坊中)
- 団体戦 3位 中西勇成、吉岡圭太、高宮大裕(湯浦)、廣瀬達貴(原の口)

阿蘇市文化協会総会を開催

協会の会員募集も呼びかけ

4月24日、就業改善センターで、阿蘇市文化協会(会長 岩永浩さん)の18年度総会が開催されました。文化協会は合併して1,000人を超える会員となりました。総会では、初めて合同で開催した文化祭についてや、文化ホール建設に向けた取り組みなど、今年度に向けた話し合いがなされました。また、阿蘇たにびと博物館の梶原宏之館長の「阿蘇の民俗文化と不思議」と題した講演も行われました。



文化協会では会員を募集しています!

年間費は1,000円です。ご希望の方は、下記の場所でお申し込みください。

<受付先>

- ・旧阿蘇町の方→5月15日または6月19日の午前中(農村環境改善センター)
- ・旧一の宮町の方→5月15日または6月19日の午前中(就業改善センター)
- ・旧波野村の方→6月19日までの随時(波野支所)